

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	70.0%	自校A B層の割合	70.0%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・全教科において、原則問題解決または課題解決の過程を重視した授業の実施。 ・主任教諭による校内OJTを年間通して実施。 ・全学年における教科担任制の実施。	・東京ベーシックドリル診断シートを年3回以上実施。 ・漢字・計算コンテストを長期休業明けに実施。 ・算数科の基礎基本的内容の習熟を図る「マッスルタイム」を週1回の昼学習で実施。	・家庭と連携し、家庭学習の習慣を身に付けさせる。 ・その日の学習の定着を意識して課題を出す。 (特に国語科・算数科) ・週1回以上、タブレットを活用した家庭学習を出す。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	・個に応じた指導を行うため、算数習熟度別指導の全学年実施。	・民間による放課後補習教室（トライ）を毎日実施。（C層下部～D層中心） ・週2回の補習教室（チャレンジタイム）を実施（C層中心、ミライシード活用）	・「家庭学習のてびき」を児童と保護者に周知し、家庭の協力を得られるよう、連携に努める。
成果指標	・全国学力学習状況調査児童質問紙 「今までの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」における肯定的回答 8割以上。	・東京ベーシックドリル診断シート8割達成者を80パーセント以上。	・全国学力学習状況調査児童質問紙 「授業時間以外の勉強時間」における1時間以上の回答 9割以上。